

萬福寺の公式ホームページをご覧ください。

<http://www.manpukuji.or.jp>

INFORMATION

仙事のご案内 ご家族皆様で参加しましょう！

7.13

孟蘭盆会法要

12時(正午)から新盆法要、午後1時から法話、2時からお盆法要

7.23

大施餓鬼会法要

午後1時から法話、2時から法要

9.23

秋彼岸法要

午後1時から法話、2時から法要

10.28

鬼子母神祈願法要

午前11時から

お知らせ

「大雄山最乗寺参拝」

10月1日・2日の1泊2日

大雄山最乗寺と伊豆稲取へのバス研修

萬福寺護持会では10月1日(火)・2日(水)の1泊2日で大雄山最乗寺参拝と伊豆稲取へのバス研修視察を行います。大雄山最乗寺参拝後は稲取温泉「銀水荘」に宿泊します。

檀家様、その他の方の参加も歓迎いたします。ご家族、お友達等お誘い合わせのうえ、大雄山最乗寺へ皆様とご一緒に参拝しましょう。参加費用は1名様2万円です。

※参加ご希望の方は、萬福寺受付(寺務所)へ仮申し込みをしてください。

詳細が決まり次第、ご案内状を郵送させていただきます。正式なお申し込みはその後となります。

大雄山最乗寺について

神奈川県南足柄市大雄町にある大雄山最乗寺は、曹洞宗に属し全国に4千余りの門流をかかえるお寺です。

開創以来600年の歴史をもつ関東の霊場として知られ、境内山林130町歩、多くの老杉が茂り霊気は満山に漲り、堂塔は30余棟に及びます。

御葬儀・法要の連絡は 萬福寺本堂総受付まで

法要は「追善法要」ともいい、故人が浄土で安楽であるようにと願いを込めて行うものです。年忌法要は葬儀とは違い予定が立てられます。できれば半年前、少なくとも3カ月前には準備を始めましょう。

御葬儀・法要のお問い合わせ・お申し込み

萬福寺本堂総受付 ☎03-3771-2025

※梶原殿の会場使用につきましては、他社の葬儀社も利用できます。

お 釈迦様の誕生
を祝う「花まつり」が行われました。
浴仏盆と呼ばれる水盤上に、お釈迦様
がお生まれになったときに宣言された「天
上天下・唯我独尊」、すなわち「この世に
自分よりも尊いものは無い。お一人おひ
とりが尊い存在である」と、天(右手)
と地(左手)を指差した小さな誕生仏の
お釈迦様が安置された花御堂の前で、
安本利正ご住職様らがお経を唱えられる
なか、参拝者は順次小さな竹の柄杓でお
釈迦様に甘茶をかけてお祝いました。
花まつりの後、安本利正ご住職様のお
話では、昭和26年には50人を超える子供

平成25年1月8日(月)
花まつり

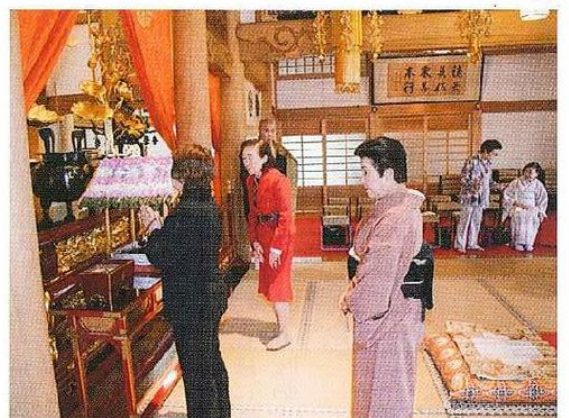


たちと一緒ににぎやかな花まつりを行っ
たそうです。当時の子供たちは学校から
帰るとこの萬福寺に集まって来て、大学
に通っていた当山の学生さんたちと一緒に
お手伝いをしたり勉強などを教えても
らい、最初は10人位だった子供たちが40
〜50人と増えて、29年頃には100人を
超えたそうです。
その後、ご住職様は神奈川県秦野市へ
移られ、そして、時代とともに学習会(塾)
が萬福寺近くの白田坂の上で、子供会
は自然に閉鎖されたそうです。(後日、ご
住職様は全日本仏教会に関わりを持たれ、



天と地を指差した誕生仏
のお釈迦様像

国際文化局長としてもご活躍されました。
来年4月8日の花まつりには、ぜひ皆
様お誘い合わせのうえたくさんのご参加
をお待ちしています。



手を合わせお釈迦様に甘茶をかけてお祝いました。

編集後記

今年の春から初夏にかけて、東京では桜の開花こそ早かったものの、概して肌寒く感じられる日が多かったように思われます。これも異常気象のせいなのでしょう。海の向こうのアメリカからは、想像を絶する巨大な竜巻の被害が伝えられました。

自然が猛威をふるう時、人間の存在の小ささ、はかなさを思い知らされます。科学の進んだ現代に暮らす私たちでもそうなのですから、三百年、あるいは四百年以上前のご先祖さまたちの感じた心細さはいかばかりかと思われます。

東日本大震災以来、三陸沿岸の津波罹災の古記録に再び注目が集まっています。子孫に残してくれた祖先の智恵をありがたく受け入れて、祖先への感謝の念を新たに、お盆とはそのような一時なのかもしれません。